

第2回 企画改善部会・基準法システムWG 議事録（案）

日 時 平成25年11月5日（火）15:00～16:00

場 所 茨城県土木部都市局建築指導課

資 料

- 【資料1】第1回基準法システムWG（大阪府）議事録
- 【資料2】EXCELデータ取り込み機能に関する打合せ（メモ）
- 【資料3】平成24年度第3回基準法システムWG（茨城県）議事録
- 【資料4】項目比較表（茨城県フォーマットとEXCEL取込フォーマット）
- 【資料5】EXCEL取込用項目定義書
- 【参考】EXCEL取込用のファイル作成における留意事項
- 【資料6】スケジュール（案）

出席者

- 茨城県 建築指導課 小沼様、木村様
- 事務局 坂田、久保（記）

趣 旨

通知・報告配信システムの「EXCEL利用型」実証実験の経過を確認する。
また、実証実験の一環として検討することとしていた「EXCEL利用型」所定のCSVフォーマットへの変換機能（茨城県が作成したEXCELマクロ）の状況についても確認し、今後のスケジュールを決定する。

総 括

- (1) EXCELファイルから台帳システムに取り込むまでの一連の操作については、EXCELマクロによるフォーマット変換も含め、基本的に問題はないことを確認した。そこで、茨城県における実証実験は終了とし、今後は本運用に入ることとする。
- (2) EXCELマクロについては、事務局にて特定行政庁に公開し、汎用的に利用できないかを引き続き検討することとする。
- (3) EXCELファイルで頻繁に発生したエラー（入力ミス）は次のとおり。
 - ・確認済証番号の入力ミスによる番号重複や飛び番号
 - ・123.45 m²のように、数値項目に小数点が2つ存在
 - ・郵便番号の桁数が7桁をオーバーこれらエラーについては、ICBAの提供する変換サイトでチェックされるものもあるが、「飛び番号」のように当該利用者でなければチェックできないものもあり、これらを事前にチェックする仕組みを利用者側で整備する必要がある。

主な意見等

- ・EXCELデータ数件の取り込みは問題ないが、指定確認検査機関から過去に提供されたEXCELデータ約10万件を台帳システムに登録したい。台帳システム登録用のファイル出力が100件までとなっているため、100件ずつ登録を繰り返し、1ヶ月で2万件余りを

登録できたところである。(茨城県)

- ・取り込み途中でシステムエラーが発生することがある(10件程度の取り込みでもシステムエラーが発生することがある)。この原因には、建蔽率・容積率の数値に誤りがあるデータが含まれていると台帳システムが登録拒否することと、処理時間が長いとブラウザの設定で接続が切れてしまうことの2つがあるようである。(茨城県)

→システムエラーの原因はI C B Aでも調査する。(事務局)

- ・エラーチェックは、EXCELの表の並び替え・フィルタを利用して事前にデータを整理すれば、CSVファイルのインポートでのエラーチェックで十分と思われる(特に用途地域、都道府県知事、建築士資格、空白文字の有無等)。CSVファイルのデータ項目に改行キーデータが含まれている場合、EXCELで検索することはむずかしい。(茨城県)
- ・同一物件の台帳システムへの取り込みを2度行った場合、別物件として登録されるようになっている。前記のようにシステムエラーが発生して「一部物件のみ取り込めた」場合、再トライで全部取り込めると、最初に取り込めた物件が重複登録となり、物件削除に多くの時間を要した。また、データ抽出を利用して登録物件数をチェックする場合、抽出データに前日までのデータしか含まれないことに注意が必要である。(茨城県)
- ・EXCELマクロによりフォーマット変換とエラーチェックを実施しているが、EXCELのレスポンスが悪く、時間がかかる。一方、ACCESSで行うと非常に速い。今後はACCESSで行うことも視野に入れている。(茨城県)
- ・EXCELマクロによるエラーチェックは、正しいデータに自動変換するのではなく、主としてエラーの発生箇所のセルに色を付ける方法によっている。チェック内容は、値チェック(用途地域に想定外の文字列が入力されていないか等)、データ型チェック(半角・全角・整数)のほか、メートル単位で入力される道路幅員をミリメートルに変換する仕組みなど、オリジナルデータの特性により多岐にわたる。(茨城県)
- ・EXCELマクロによる項目順序入れ替えは、汎用性を考慮して作成している。(茨城県)
→事務局にて、他の特定行政庁にも公開し、汎用的に利用できないかを検討する。(事務局)
- ・茨城県においては、「EXCEL利用型」により新規物件を登録するための準備として、過去物件のEXCELファイルを一括投入する作業に入っており、「EXCEL利用により台帳システムにデータを登録する」という実証実験の目的は達成したと言える状況である。そこで今後は本運用に移行することとし、県内特定行政庁への展開について引き続き検討していくこととする。(茨城県)
- ・次回企画改善部会においては、EXCEL利用型の留意事項とともに、EXCELマクロ公開の検討状況について、事務局で取りまとめて報告することとする。(事務局)

以上